

【公開用】

第4回

上野地区まちづくりビジョン推進会議

日時：令和6年1月26日（金）

9：59～11：58

場所：台東区役所10階 1001会議室

午前9時59分 開会

1 開 会

2 座長挨拶

3 議 事

(1) 推進会議の振り返りについて

○座長 最初に、推進会議の振り返りについて、事務局から説明をお願いいたします。

<事務局より【資料1】について説明>

○座長 ありがとうございます。

ただいま、これまでのビジョン推進会議全体像について御紹介いただき、前回の推進会議の内容についてももう一度振り返ってみたところですが、何か御質問があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。——よろしいでしょうか。

(2) まちづくり推進部会における検討状況について

○座長 令和2年3月にまちづくりのビジョンをつくって、それを実現するために基盤とまちづくりという2つの部会をつくって今日まで検討を重ねてきています。今日もその2つの部会から順番に報告をしていただこうと思います。

それでは、議事次第に戻っていただきまして、2番目の「まちづくり推進部会における検討状況について」、報告をいただこうと思います。

まちづくり推進部会長が今日は急遽御欠席でございますので、恐縮ですが、委員から御説明をお願いしたいと思います。

<委員・事務局より【資料2】について説明>

○座長 ありがとうございます。

まちづくり推進部会の中での御議論、あるいはワーキンググループ UENO bridge での議論ということで御紹介いただきましたが、何か御質問があればお受けしたいと思います。いかがでしょうか。——よろしいでしょうか。

あるいは何か補足したいという方がいらっしゃれば、補足もいただきます。大丈夫でしょうか。

(3) 基盤整備推進部会における検討状況について

○座長 これから、こういう活動をどのように展開するかにつきましては、後ほどまた御議論いただこうと思いますので、それではもう一つの部会の御紹介もいただいて、また議論を深めたいと思います。

基盤整備推進部会については、基盤整備推進部会長から御説明をお願いしたいと思います。

<副座長（基盤整備推進部会長）より【資料3】について説明>

○座長 ありがとうございます。

最初に御説明すればよかったのかもわかりませんが、お手元に「上野地区まちづくりビジョン推進会議設置要綱」がございますが、これの最後のページに両部会の構成メンバーが書いてございます。先ほど御紹介いただいたまちづくり推進部会は、主に地元で活動されていらっしゃる方たちを中心として構成されていますが、基盤整備のほうは実際に基盤を担っていく国やら都やら区やら、さらには交通事業者といった方たちで構成されていますので、まちの方には十分に情報が開示できていないかもわかりませんから、何か御質問があればぜひこの場を使ってお尋ねいただきたいと思います。いかがでしょうか。

○委員 上野公園内でのモビリティの検討ですけれども、お子様や家族連れ、高齢者もい

らっしゃいますので、モビリティ専用の道路の区分けとかがしっかりされていたほうが良いのかと思いますし、今、委員がおっしゃられたとおり、電動自転車が普及しておりますので、自転車が通るところも公園内で分けができると多分接触事故等々が少なく、いいのかなと。JRさんが上野駅の公園口から上野公園に入るといような構想で真っすぐ入れるというものをつくられましたので、そこをそのまま残す意味でも、歩行者とモビリティがごちゃごちゃにならないような施策は少しあったほうがよろしいのかなと、思いました。

○座長 ありがとうございます。何かお答えになりますか。

○副座長 非常に貴重な御意見ですし、スローモビリティといいますと、流行みたいになっているので、慎重に検討してまいりたいと思います。

○座長 公園で体験会のようなものもやっていたらいいと思いますが、何か補足されますか。後でいいですか。

○事務局 お答えいたします。

後ほど二次交通の実験については資料4で御説明いたしますが、今、委員からも御意見がありましたとおり、当時、実験につきまして、東部公園緑地事務所様にも御協力いただいて、警視庁にも確認をしていただいて、御意見のとおり、公園内を通るにあたり、歩行者の部分と、二次交通が走る部分はコーンを立てて分離をしながら実施したという経緯があります。

今はまだ試しの実験中ですので、今後、自転車やほかの二次交通も含め、どのように活用していくかという点については、関係者の皆様とも協議をしながら、いろいろ考えていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○座長 自転車もあるし、それから新しい違うタイプのものもあるし、中型のものもあるし、いろいろなタイプのものが考えられますので、それによって少しずつ取扱いが違うかも分からないですね。引き続き御検討いただきたいと思います。

ほかにはいかがでしょうか。

○オブザーバー 今いろいろ交通の検討をしていただいているということで報告があったわけですがけれども、これだけ皆さん頑張られて魅力あるまちをつくっていくとなると、多分人がいっぱい集まってくる。どういう交通手段で来るかというのは、これから検討というところはあるとは思いますが、車で来られる方というのが結構おられるのでは

ないかと。上野駅前で大規模な地下駐もありますし、そういったものを活用しようとする
と、おのずと駅周辺まで車が入らざるを得ないという状況が上野にはあるのではないかと
いうところからしますと、全体のトレンドを大きく見て、東京都内であると交通量が今後
も減っていくだろうというのはあるとは思いますが、上野だけピンポイントで見ると、
魅力あるまちによって人が呼び込まれて、上物がある以上そこに車を止めたいという理由
も発生してくるだろうというところをよくよく認識していただいて、車もある程度はこう
いうふうにはさばくのですよというものを、きちんと細かいレベルで検討していただきたい
なと思っております。

考え方として今はまだふんわりという感じだと思いますけれども、今後検討が深度化し
ていただいたときにはより細かく、具体的にここから来た経路の車についてはここで処理す
る、そのときに歩行者の動線とはかぶらないようにしますとか、その辺の細かいところを
継続して検討していただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○座長 ありがとうございます。

駐車場の問題がやはり大きいですね。駐車場は今、国交省でもいろいろ御検討になら
れていますし、東京都も地域ルールのようなものもつくられていますし、いろいろ工夫す
る余地があるかも分かりませんね。ぜひ引き続き御検討いただきたいと思っております。

ほかにはいかがでしょうか。——取りあえずよろしいでしょうか。

(4) 上野地区まちづくりの最新情報の共有について

○座長 それでは、本地区の最近の情報を共有するというのをやって、これから今後の
進め方について御議論いただこうと思っておりますので、まず現在のの上野地区の最新情報の共有、
資料4ですが、この説明をお願いしたいと思っております。

<委員・オブザーバー・事務局より【資料4】について説明>

○座長 ありがとうございます。資料4の1ページ目にある杜の活動な、まちの活動、
あるいは駅周辺の活動について御紹介いただきました。

先ほど広小路のお話で委員のお名前が出ていましたので、もし何か補足があればいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員 上野広小路ヒロバ化実験で実行委員長を務めさせていただきました。

今回は、先ほど委員からもありましたように、歩行者空間を実験的につくってみようということで、様々な方の御協力をいただきまして実現したものでございます。

先ほどもありましたように、基盤のほうの議論で、もともと広域の交通がどうなっているのか、それからウォークブルをやる前に自動車交通の調査をしっかりとベースにすべきだという方向性の下で、今回、歩行者空間を創出するということもありましたけれども、それが周辺の自動車交通ネットワークにどのように影響するのかという点に関して慎重に準備を進めてまいりました。

当日は、昭和通りからの右折をどのようにコントロールするかというところで、上野警察にも御指導いただき、あるいは現場でも多大なる監督をいただきまして、そのあたりを何とかクリアして無事に実験が行われ、そして調査をしましたところ、全体として顕著な障害が見られなかったということで、今後に向けて大きくはずみをつけられたかなと感じているところでございます。

次年度以降、この取組はまちづくり協議会のほうでは3年ぐらいは最低でもとおっしゃっておられますし、台東区さんでもそれをバックアップしていただけるとのことですので、影響を見ながら、ちょっとずつ幾つかの方向を試せたらと考えているところでございます。

以上でございます。

○座長 ありがとうございます。

様々な活動が行われていますので、せっかくの機会ですから何か御質問があればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

先生方から何かあればお受けしますが、よろしいですか。

○オブザーバー 15ページの交差点需要率で上限値とあるのは、信号のクリアランスタイムを差し引いた容量ということでよろしいでしょうか。

○事務局 青時間に対する需要率を見ているということです。

○オブザーバー それでよろしいのですね。

数字がやたら低いのは、歩行者専用現示があるようなところで。

○事務局 そうでございます。そこから上限値は出しております。

○オブザーバー 多分イベント事でこうやって止めるということ自体は、先ほど来触れていただいています上野の交通規制の敏腕係長がおりますので、そちらに相談していただければ普通に行えます。しかし、将来的に歩行者空間として中央通りを分断しますというようなことが議論に上がってきて検討するということであるならば、上野署とともに本部の私どものほうと細かく検討する必要があるものだと認識をしておいていただければと思います。一過性のイベントであれば普通に道路使用で対応いたしますので、それは結構です。恒久的にという部分が非常に気になるところでありますので、それについては私ども交通の管理者もそうですし、道路管理者さんもそうですし、ひいて言えば都市計画の決定権者の方々、そういったところも皆さんが「大丈夫です」というのがないと、なかなか厳しいようなところがあるので、慎重なる検討ということでお願いいたします。

○座長 ありがとうございます。

まだそこははっきりしていないのですかね。

○副座長 重々理解しておりますし、メンバーといいますか、地元の皆さんの意中には、恒久的に止めたいなという希望もなくはないと思いますけれども、そう簡単にはいきませんし、もとより東京都市計画道路放射の幹線道路であることは十分承知しておりますので。

○座長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょう。

○委員 JRさんにお伺いしたいのですが、シェアサイクルポートの自転車は、こちらに戻ってこないといけないのでしょうか。それとも日暮里の駅とか御徒町の駅とか秋葉原の駅とか、ほかのところにそのまま止められるような、要はレンタサイクルの会社さんが違うと相互利用性があるのかないのか、その辺をお伺いできればと思います。

○座長 委員いかがでしょうか。シェアサイクルは誰が運営されていらっしゃるのですか。

○委員 シェアサイクルについては、オープンストリートというようなシェアサイクル事業をやっている会社との連携というようなことで、今回44台整備してございますが、そういった会社が整備している拠点においては、必ずしも上野駅でなくても、そこで降りることも可能だということでございます。

○座長 ポートが幾つかあるのでしょうかね。

○委員 はい。この会社がサービスを提供しているところのポートが複数あります。

○座長 ですから、ここに帰ってこなくても使える。

ついでながら、Beyond Stationは、次は何をおやりになるのでしょうか。

○委員 いろいろな取組の可能性があるのですけれども、今のところ上野で決まっているのは、先ほど申し上げたところと、先ほど御説明しなかった中では、改札内ではごさいますけれども、改札内の13番線ホームのところにも大型のサイネージを整備いたしました。こちらにつきましては冒頭御説明いたしました包括連携協定を締結しております東京藝大の協力で、学生を対象としたアートのコンペティションについての作品の映像等々が多くなるというようなことは予定してごさいます。そういったことを計画しているということでごさいます。

○座長 これは動きが続いていくと理解してよろしいということですよ。

○委員 そうですね。

○座長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。——よろしいでしょうか。

(5) 今後の進め方について

○座長 それでは、これからどのような活動を展開していくべきかという議論に入りたいと思います。

最初に事務局から説明をお願いしたいと思います。

<事務局より【資料5】について説明>

○座長 次年度、令和6年度に何をやろうかということでごさいますので、ここはぜひ皆様からも御意見を頂きたいと思います。こういったことをやるべきなのではないかという御意見、あるいは、これをもしやるのならこんなことを一緒にやろうという御提案、どこでも結構でごさいますので御発言を頂きたいと思います。いかがでしょうか。

○委員 災害対策に対する連動というのはお考えでしょうか。

○座長 防災の観点はいかがかと。

○事務局 お答えいたします。

災害対策に関する取組については、本日の資料では提示しておりませんが、まち部会においてテーマとして平時からの災害対策の取組というものを挙げておりますので、今後の検討課題として考えていきたいと思っております。

○座長 防災に関する計画は既に何か持っていらっしゃる？ まだ何もない？ 地域防災計画はつくってある。

○事務局 はい。台東区では地域防災計画というものがございまして、その中での取組というものはございます。

○座長 それをより具体化するために、せっかく今、杜まち連携をやっているところだから、そういう中で何かやることのでないか、そういう御主旨ですよね。

○委員 そうですね。大規模地震があったときの避難経路というのが、実際私はあの会にも出たのですが、こちらの地図を見ていただくと、アメ横から上野の山に逃げるところ、三角のところがあるのですが、ここの細い道が避難経路になっているのですが、3mほどしかないのですよ。そういうのも使って避難経路というのは、正直言って不可能に近いと思っておりますので、その辺をきちんとまちづくりとして考えていただくほうがいいのではないかなと考えております。

○座長 ありがとうございます。

○事務局 今頂いた御意見につきましては、所管のほうにもお伝えしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○座長 イベントをやったり、様々な活動で盛り上げてくると、先ほども御指摘がありましたが、人々が集まってくるので、あまりまちに慣れていない方が来られるときに、もし何かあったときにどういうふうに誘導するのかというあたりの問題ですよね。多分広域的にもいろいろ防災の組織があるし、場合によったら、防災センターが持っているところもあるし、連携を図る方法を考えたほうがよろしいですよ。ありがとうございます。

ほかはいかがですか。

○委員 基盤について軽くですが、中央通りで銀座とか日本橋についてはガードレールが

ないようなつくりになっていて、それって多分見た目的にもすごくすっきりしたりとか、そういう見た目的なものも含めて中央通りをどうきれいに見せていくかとか、そういうこともぜひ動線の構造のみじゃなく考えていっていただきたいなというのが1つ。

もう一つは、これからいろいろと進めていくに当たって、私と委員は御徒町の南口の広場の運営について携わっているのですけれども、自分たちだけでやったりすると、今こういうふうにはいろいろな、例えばJRさんがパンダ橋でやっているとか、あるいはまちの人が本のまちをやったりとか、そういう企画をお互いにやり合うみたいなメカニズムというか、そういう会合みたいなものもあったりすると、より活性化するのではないかと。藝大さんの作品を例えば南口広場に持ってきてもらうとか、そういうようなお互いやり合うみたいな形に持っていければいいのかなと感じました。

○座長 ありがとうございます。

後半のほうは、「杜まちカレンダー」は今回どうされるのですか。さらに進めて実際に作られる？

○委員 さらに進めていくのですが、今のような紙の形というのは適切かどうかというのがまずありますので、何らかの形で進めていくと思うのですけれども、今おっしゃったのは、カレンダーというよりも人の連携の部分ですね。

○委員 人の連携とか、こっちでやっていることを、面白いのだったら違うところでやってみようよという、そういうやり合いの場というのは、大きな会議では難しい場合がありますので。

○委員 そこは事務局がやっていらっしゃる UENO bridge さんのほうの課題になるのではないかと思いますので、いかがですか。

○事務局 お答えいたします。

委員につきましては、日頃よりパンダ広場についていろいろとイベント等を実施していただいております。現在、土曜日・日曜日を含め平日もイベントをやっていらっしゃるのですけれども、商店街様だけではなくて、例えばそういったいろいろなまちのプレイヤーによる取組が実施されていくほうが内容として広がっていくものと思います。例えば藝大さんへの情報共有ですとか、イベントの内容は、ワーキンググループも含めまして、情報共有の場を図っていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○座長 ほかのところのだとSNSをうまく使ってやったりしているところもあるのですが、ハッシュタグのキーワードを決めたりしてね。ここまでの活動では、SNSに関しては取組をされていらっしゃるのですかね。

○事務局 お答えいたします。

パンダ広場の活用につきましては、商店会様のホームページですとか、あとは区のホームページなどにも掲載しております。イベントをやるときにつきましては、いろいろとSNSを活用し発信しているところでございます。また、それぞれの新しい周知方法などにつきましては、今後新たなものも含めまして検討していければと思います。

○座長 丸の内ですと、女性が見ていらっしゃるのはいんスタグラムなのですよ、割と。インスタ見て来ている人は結構いるのですよね。やはり多少戦略的にやったほうがいいなという気はしますね。

前半のほうのポラードはじめ柵はどうかという話なのですが。

○副座長 貴重な御指摘ありがとうございます。

おっしゃるように、同じ中央通りですけども、銀座本通りの一丁目から七丁目の辺なんかは、歩道はマウンドアップしていますけれども、柵はないし、パッと考えますと、車に乗る立場としても、あの周辺で南北方向に移動しようとして、わざわざ中央通りを選ばないような気がするのです。早く移動したいのだったら昭和通りを通るのではないかと。それに対して上野のところの中央通りは、まず車で通るのに最初に選ぶ道だろうと思いますので、そういう環境じゃなくなればということも含めて検討したいと思います。

現在、銀座本通りは4車線運用されていますけれども、あそこは力いっぱいスピードを出すという感じの道ではないですよ、やはり。そういうふうになっていくことが大事なのだと思いますし、もちろんその先には、もっと規制したいというお気持ちはわかりますけれども、今は全然必要ではなくて、車のほうは6車線ぐらいあって、中を通るときには歩道のことは何も気にせずビュンビュン走れる場所ですから、そういうところも含めて非常に貴重な御指摘だと思っています。

○座長 車を中心に考えるか人を中心に考えるか、その道路全体のイメージをうまく伝えないと、うまくいかないかなということですかね。

○副座長 現状は横断防止柵があるのは致し方ないと思いますけれども、そうじゃないよ

うな道にしていくということだと思います。

○座長 かなりの幹線道路ですから、どうするかはあれなのですけれども、もうちょっと小さい道路ですと、渋谷だと今宮益坂を、これも警察の方といろいろ協議しながら、通過する車が本来通るべきじゃないだろうというので歩道を広くして、場合によったら土・日は少し自由に使えるようにするためにもボラードにしたときに、平日は車が走りますので危ないだろうというので、やはりチェーンなり柵なりはできるようにして、取り外しできるようにするということは、ほかの地区では工夫としてやっていますね。時間的にシェアする場合には多分そうなるのですね。完全に歩行者にすれば別なのですけれども、シェアするときは多分そんなことも考えなきゃいけない。実験の中で幾つかやってみて、この道路の使い方について、皆さんがこういう方向でいいのではないかということが合意できてくれば、それにふさわしいデザインに変えていけばいいですよ。ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

○委員 令和7年度に寛永寺が建てられてから400年目を迎えることになります。その大きな行事といたしまして、東京藝術大学の日本画の名誉教授に、寛永寺にあります根本中堂に国内最大級の縦12m、横6mの大きな双龍の天井絵を御奉納いただく事になっています。それをはぎりにいろいろな方においでいただいて、この上野地区、また谷根千エリアを活性化できればと思っております。

令和7年1月に、奉納されます天井絵が最後に上野松坂屋で展覧会を行いますので、そのときに上野松坂屋さんを中心に上野のまち、また上野公園に来るようなことも少し連携をさせていただければありがたいなと思っております。寛永寺に最終的に天井の絵が入るのが令和7年度10月になりますので、寛永寺といたしましては10月から天井絵を中心とした行事を順次行ってまいりたいと思っております。その上ではぜひとも皆様方と御協力できれば大変ありがたいですし、文化の杜新構想さんには、昔は寛永寺も入っていたみたいなのですけれども、再度寛永寺も入れていただいて、東博さんとも連携を取りながら、各文化施設とも連携を取りながらやっていきたいと思っておりますので、またお願いできればと存じます。また、そのPRでは、ぜひとも鉄道3社さんにもできれば御協力いただいて、より多くの方が上野まちに、それから全体に広まっていけるように、いろいろなど

ころで御協力いただければ当寛永寺としては大変ありがたいと思っておりますので、ぜひともよろしく願いいたします。

○座長 大変貴重な情報をありがとうございました。

ビジョンをつくった段階で、短期的な戦略、中期的な戦略、長期的な戦略みたいなことを議論したときに、節目が幾つかあるよねと。短期の節目の1つが寛永寺さんの400年で令和7年というのを書いてあるのですね。2023年が関東大震災100年で、その後いくと実は銀座線の開通からというので、幾つか節目があるので、それを上野としてはある種の共通の節目として使わせていただいて、杜とまちがつながっていく。寛永寺さんも杜まちカレンダーの中にちゃんと入っていますので、ぜひ情報を提供していただいて連携を取ればいいですよ。ありがとうございました。

○委員 貴重なお話、どうもありがとうございました。ちょっと補足させてください。

社会実験の11月19日と26日に、回遊性の調査を随分袴腰広場でしたのですね。幾つかの質問をクロス集計していくと、「どこが上野のまちで一番お気に入りですか」という質問と「上野のイメージをどのように思っていますか」というのを掛け合わせますと、上野のイメージを「歴史的なまちだ」と言っている方は、上野で一番お気に入りの場所として挙げるのが、「その他・上野園内」というところを挙げていらしたのですね。というのも、文化施設と動物園が選択肢にあったのですが、それ以外は「その他・上野園内」、寛永寺という選択肢がなかったのですけれども、まず間違いなく寛永寺を指しているのは確実に、そこが際立って多かったというのがはっきりして、清水観音堂等々も含めて、やはり寛永寺って非常に重要なポジションにあるのだなということを改めて感じた次第でございますので、ぜひ文化の杜さんとの再度の連携も含めて、本当に核になってくるなと思った次第でございます。

以上です。

○座長 ありがとうございます。

○委員 ありがとうございます。恐らくなのですが、令和7年度の10月10日からですので、多分いろいろ方というのは令和8年になるのかなと。令和8年1月のお正月が初めて、お堂に天井絵が入ったの初詣の時期にもなりますので、またそこから展開されていくかなと思っておりますので、長期的な視野になりますけれども、よろしく願い

いたします。

○座長 ありがとうございます。

そういう貴重な情報を共有しながら、ぜひ上野として進んでいきたいですね。ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょう。

○オブザーバー 今いろいろとお話を聞いていて非常に面白そうだなと思ひまして、ぜひ上野文化の杜と一緒にやっていけたらと思ひます。先ほどの伽藍を再現するというのも結構面白くて、詳しく後でお話をお聞きできたらと思ひますので、何かをつけるとそういうふうに見られるということにすると上野公園自体は別の、リアルとバーチャルで二重に楽しめることができますので、そういうふうなことに持っていけたらと思ひますので、またぜひよろしくお願ひします。

○座長 国交省でも PLATEAU という空間情報があるので、それを使って渋谷なんかもバーチャル渋谷をつくるなど、あちこちでやっている中に、コンテンツとしてはとても重要なものを今お示しいただきましたので、確かにうまく連携できるといいですね。ありがとうございます。

ほかはいかがでしょう。東京都あるいは国、さらには先生方からアドバイスがあれば頂きたいと思ひますが。

○オブザーバー まちづくりビジョン推進会議の取組として、まちづくり開発誘導方策検討というのが書いてございます。まずは景観の検討をされるということなのですけれども、ぜひ基盤整備部会とかまちづくり推進部会とも連携して進めていただければと思ひております。

その上で2ページ目を見ますと、景観形成のガイドライン策定の次の段階として、「上野らしい機能誘導を図るために必要となる制度設計を併せて検討」と記載されているのですけれども、今の時点で具体的に何か考えておられることがあれば、少し情報提供頂けるとありがたいかなと思ひます。

○座長 いかがでしょう。

○事務局 お答えいたします。

現状では、いろいろな都市づくりの制度を国や都の方の御助言等も頂きながら検討を進

めておりまして、その具体的な中身については今後改めて、また整理がつき次第、御報告させていただきますと思います。よろしくお願いいたします。

○座長 またぜひ御指導いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○副座長 なかなか行政からですとお話しづらい話なので、現時点では。御承知だと思いますけれども、そもそもこのビジョン自体、冒頭申し上げましたように、山手線のターミナル駅を次の時代に向けて面として改造していこうよという一連の取組で、とはいうものの上野は渋谷のように超高層をぼこぼこ建てるところでは決してないとは思いますが、そういうことを議論している中で、上野には非常に特殊条件がございまして、世界遺産があることでどのくらいの開発が許されるのかというところを今行政のほうで慎重に見ていて、それがある程度クリアできますと次のステージに入れるということで、そろそろ次のステージに入る準備をしましょうということだと思いますので、はっきりしましたらばりばりやりましょう、そういうことです。

○座長 よろしくお願いたします。

ほかにはいかがでしょうか。——特によろしいでしょうか。

私から1つだけ。あちこちでお手伝いしていますと、主に大丸有でやっているのですが、DMO東京という世界の様々な会議を誘致したりする組織があるのですが、その中でユニークベニューのような、つまり会議が終わった後の様々な、お楽しみといったものも当然パッケージで出すのですよね。ある国際会議で、あそこにあります出光美術館さんのバックヤードといったら失礼なのですが、展示以外にこんなものがありますよというのも含めて、そういうツアーをやらせていただいたようで、とても好評だったと。そういうお宝って実は上野にいっぱいありますよね。今までどこに相談したらいいかわからないというのが彼らもあるようなのですが、今回のように杜まち連携だとか、全体の大きな見取図が見えてくると、そういうところとも場合によたらば連携もあるかもわからないと思います。彼らとしては、江戸の文化だとかそういうものについては国際会議を誘致する上でも大事なコンテンツなので、そういったところとこういった様々なイベントがうまく連携していったり、あるいは先ほど寛永寺さんのお話がありましたけれども、特殊な空間をうまく使わせていただければ、新しい日本の魅力が世界に伝わるということもあろうかと思って伺っていました。また模索していきたいと思いますので、よろしくお

願いたいと思います。

今日御発言いただかなくても、後でお気づきになれば、ぜひ事務局にお伝えいただければ各部会に伝わりまして、あるいはほかの活動に伝わりまして、連携を取っていただいてさらに一步進んでいくということにしたいと思いますので、御遠慮なく情報提供あるいは御意見を頂きたいと思います。

その他、事務局から連絡事項がございますか。

○事務局 本日の議事は以上でございまして、いろいろと御意見を頂きまして本当にありがとうございます。

最後に事務局より1点告知をさせていただきます。皆様のお手元に最初に御報告しましたチラシを配付してございます。内容としましては、上野地区まちづくりビジョンのシンポジウムを行いたいと考えてございます。日付につきましては、2月5日（月曜日）14時より、東京国立博物館平成館の大講堂をお借りしまして、このシンポジウムを開催いたします。本イベントにつきましては、このビジョンに基づく上野の将来像を広く世間に発進することを目的としておりまして、座長の基調講演や寛永寺による特別講演をはじめとしまして、本日御紹介した上野広小路ヒロバ化計画を切り口に、上野の未来を考えていくパネルディスカッションも企画しております。本日御出席いただいております一部の委員にも御登壇いただく予定でございます。お席もまだ若干の余裕がございますので、御都合がよろしいということで御出席の希望があれば、後ほど事務局までお声がけいただければと存じます。

4 閉 会

午前11時58分 閉会